

地域振興部長 説明要旨

地域振興部長の赤坂でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、今議会にお願いしております地域振興部関係の議案について御説明いたします。

<議案関係>

まず、議案書の22ページをお開き願います。

議案第125号は、企業版ふるさと納税制度に基づく寄附金を地域振興基金で受け入れることができるようにするため、議会の議決を求めるものでございます。

<予算関係>

続きまして、今議会にお願いしております地域振興部関係の補正予算について御説明いたします。

補正予算説明書「出」の1ページをお開き願います。

第2款「総務費」第2項「企画費」第2目「計画調査費」の、地域振興課の「○ 地域振興基金」で、積立金として1億2千万円を計上しております。これは、まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に要する経費の財源に充てるため、企業版ふるさと納税に係る寄附金を積み立てる経費でございます。

併せて、地域振興課の「○ 地域活性化支援」で、2,442万円の増額をお願いしております。これは、企業版ふるさと納税の寄付額が想定

より多くなったことによる手数料の増額でございます。

＜主な施策等＞

続きまして、地域振興部における6月議会以降の主な施策等について御説明いたします。

地域づくりにつきましては、リーダー人材を育成するための研修である「わかやま地域デザインカレッジ」の参加者を8月から募集しており、10月から来年2月にかけて実施してまいります。

また、移住施策の推進につきましては、わかやま移住定住支援センターを中心とした情報発信や移住相談を実施するとともに、二地域居住等関係人口の創出・拡大に向け、地域と域外居住者との多様かつ継続的な交流を促進するための各種事業を展開しているところです。

地価調査につきましては、7月1日を基準日として、県内213地点の標準価格を判定し、9月17日に結果を公表したところです。

県内の地価は、引き続き下落傾向にありますが、下落幅は、4年連続で縮小しています。

次に、公共交通につきましては、地域住民の日常生活に必要不可欠な移動手段を確保するため、地域間幹線系統のバス路線に対する助成を行うとともに、アドバイザーの派遣やライドシェアの実証運行等への支援を行うなど、県地域公共交通計画に基づき各種施策を実施してまいります。

また、JR紀勢本線の新宮・白浜間の利用促進を図るため、沿線市町村、JR西日本及び県で構成する「紀勢本線活性化協議会 新宮白浜区間部会」では、月曜日から木曜日に特急「くろしお」を1日1往復増便する実証実験を、11月4日から取り組む予定にしております。

引き続き、地域公共交通の維持確保及び利便性の向上を図るとともに、県内の各事業者と連携し、公共交通の利用促進に取り組んでまいります。

続きまして、デジタル社会の推進につきましては、若者の集積と交流を促し、地域の活性化を図るため、8月1日にゲームクリエイターのためのコミュニティ「Game Grove X（ゲーム グローブ クロス）」を開設しました。既に県内外から100名を超えるクリエイター等が参加し、情報交換や交流が行われております。

また、課題解決に有効なツールであるドローンについて、県職員を対象とした技術向上研修を、7月末から実施しているところです。

引き続き、デジタル技術の活用による地域活性化や課題解決に取り組んでまいります。

最後に、観光についてでございます。

現在開催中の大阪・関西万博では、閉幕に向け来場者の増加が続いているこの機会を捉え、和歌山ゾーンにおいて、県内市町村や観光協会等と連携して観光PRを集中的に実施しているところです。

また、本県の温泉の認知度向上と需要拡大を図るため、10月に東京で開催される「和歌山ファンミーティング2025」において、首都圏のメディア関係者等を対象に、多彩な特色を有する温泉の魅力を、本県が誇る食と掛け合わせて発信してまいります。

インバウンドにつきましては、6月以降、中国、韓国、香港、シンガポール、タイで現地プロモーションを実施したほか、11月には県内観光事業者と旅行手配を行うランドオペレーターとの商談会を東京において開催いたします。

さらに、串本町で高級宿泊施設の開発を計画しているソルト・コンソーシアム株式会社と、8月に包括連携協定を締結したところであり、今後、高付加価値旅行者の誘客等の事業で連携してまいります。

こうした取組を通して、国内外からの誘客を促進してまいります。

私からの御説明は以上でございます。

御審議の程、よろしくお願いいたします。